

The logo for A10, consisting of the letters 'A10' in a bold, white, sans-serif font.

Always Secure. Always Available.

FQDNによる脅威インテリジェンスサービス (C2リストなど)

A10ネットワークス株式会社

シニアテクニカルコンサルタント

眞野桐郎

2025/6/27

A10ネットワークスについて

A10 Networks, Inc. (NYSE: ATEN)

- 設立：2004年9月
- 代表者：Dhrupad Trivedi (CEO)
- 本社所在地：米国カリフォルニア州サンノゼ
- 2014年 ニューヨーク証券取引所（NYSE）に上場

A10ネットワークス株式会社

- 設立：2009年4月
- 代表者：川口 亨
(日本法人代表兼社長 米国本社ヴァイス
プレジデント兼務)
- 拠点：東京、大阪

世界のリーディング企業で採用

製品・サポート提供先の国

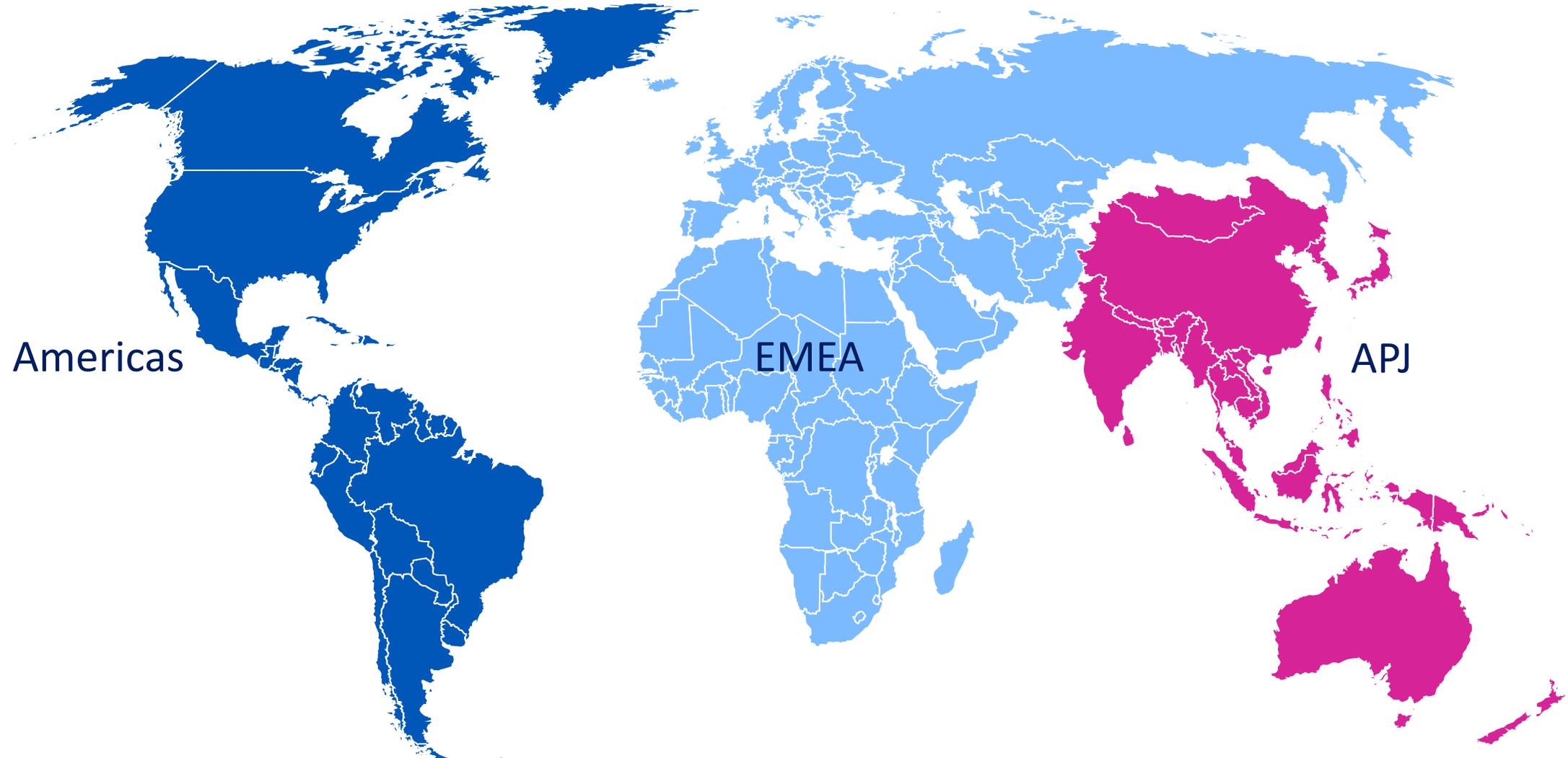
117+

導入社数

7,000+

ハイパフォーマンスなネットワークアプリケーション製品により
セキュリティ・アプリケーション配信機能等を提供

A10 日本法人の位置づけ



日本法人がAPAC + Japan (APJ)を担当

日本国内におけるビジネス

国内総数

1,787社

2024年9月現在

新規顧客数

215社+

2023 - 2024



A10 ネットワークスの基本姿勢



Customer Driven Innovation

お客様のご要望を柔軟に取り入れた
製品開発と組織体制



Support

導入から運用までを手厚くカバーし、
シームレスにご支援
SE・サポート（日本語）

A10



Global Presence

米国本社との強力な連携



Partnerships

日本固有の商習慣、文化を尊重
お客様、パートナー様、
との Win + Win + Win

日本に根付いたビジネスを展開

A10の注力分野



AI

セキュアで高速・低遅延な
AI利用環境を支援



サイバーセキュリティ

重要なサービスを守る
能動的攻撃防御



ハイブリット/
マルチクラウド

クラウドシフト
インハウスシフトに対応

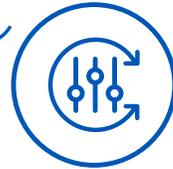
セキュアで可用性の高いビジネスクリティカルネットワーク
を実現

製品・ソリューションラインナップ



脅威インテリジェンス
サービス

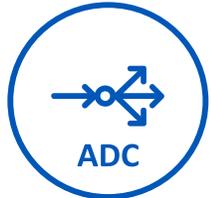
統合監視・可視化ソリューション



A10 Control

A10 Defend Threat Control

ロードバランサ/
キャッシュDNS/
DNSセキュリティ



Thunder
ADC

次世代WAF



A10 Defend
NGWAF

IPv6移行
CGNAT



Thunder
CGN

プロキシ/FW/
DPI・帯域制御



Thunder
CFW

クラウドプロキシ
サービス



Cloud Access
Controller

DDoS攻撃対策/
DNSランダム
サブドメイン攻撃対策



A10 Defend
DDoS
Protection

Advanced Core Operating System (ACOS)

統一化されたソフトウェアプラットフォームで各機能を提供

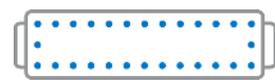
柔軟な選択：フォームファクタ

多様なフォームファクタに対応し、ニーズに応じてどこにでも展開できる



仮想

独立した
インスタンス



ベアメタル

最適な
パフォーマンス



コンテナ

クラウド
ネイティブ



クラウド

クラウド
インスタンス



アプライアンス

ハイパフォーマンス



CLI/GUI/REST APIでの
コントロール

FQDNによる脅威インテリジェンスサービス A10 DNSフィルタリング

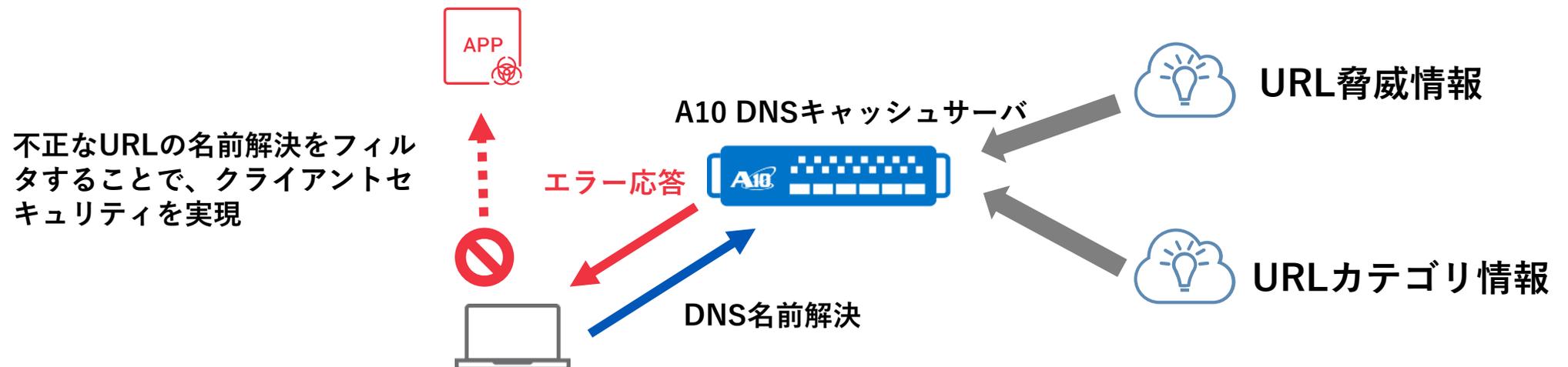
A10 DNSフィルタリング

1. 脅威対策

- マルウェアやフィッシングサイトによる感染を防ぐため、FQDNの脅威情報にしたがい対象サイトへの名前解決をブロックすることで不正なアクセスを遮断。

2. アクセス制御

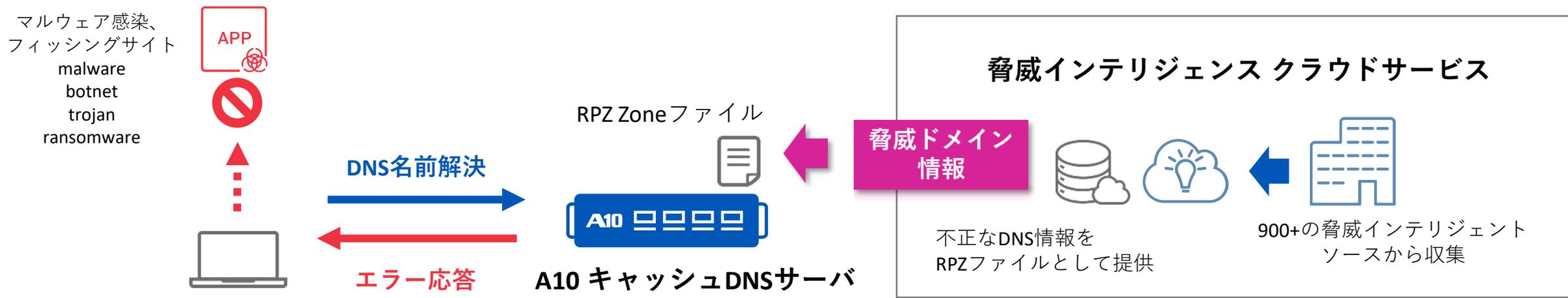
- 6億以上のドメイン、270億以上のURLを87のWebカテゴリに分類（インターネットの95%をカバー）。ユーザーにカテゴリを組み合わせたアクセス制御を提供。



A10 DNSフィルタリング：脅威対策

- マルウェア感染、フィッシングサイトなどセキュリティ上の脅威が含まれるURL/ドメインの名前解決を、キャッシュDNSサーバでフィルタリング
- 脅威インテリジェンスのクラウドサービスから脅威ドメイン情報をキャッシュDNSサーバにインポート

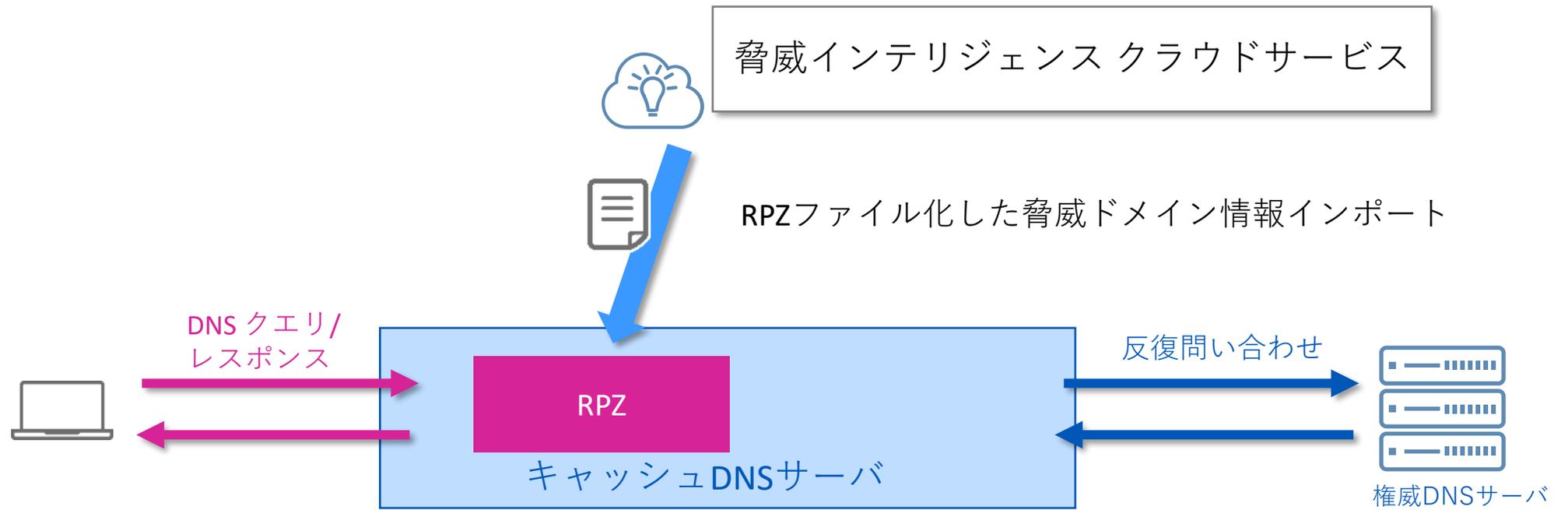
DNSによる脅威防御に最適



FQDN脅威インテリジェンスの提供

クラウドからFQDNの脅威情報をDNSサーバに提供

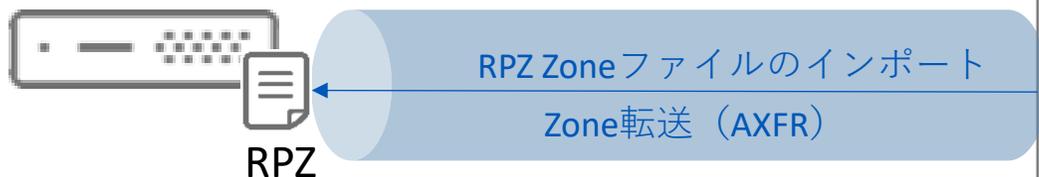
- 100万以上の脅威ドメイン情報
- 20以上のタイプ別脅威カテゴリ
- 各カテゴリに脅威タイプを分類した数十のサブカテゴリ



脅威情報のDNSサーバへのインポート方法

- 脅威情報は脅威インテリジェンスクラウドサービスからRPZ zoneファイル形式で提供され、DNSサーバへゾーン転送により直接インポートが可能（AXFR方式）

キャッシュDNSサーバ
Bind9, PowerDNS etc.



脅威インテリジェンスクラウドサービス

脅威ドメイン
情報

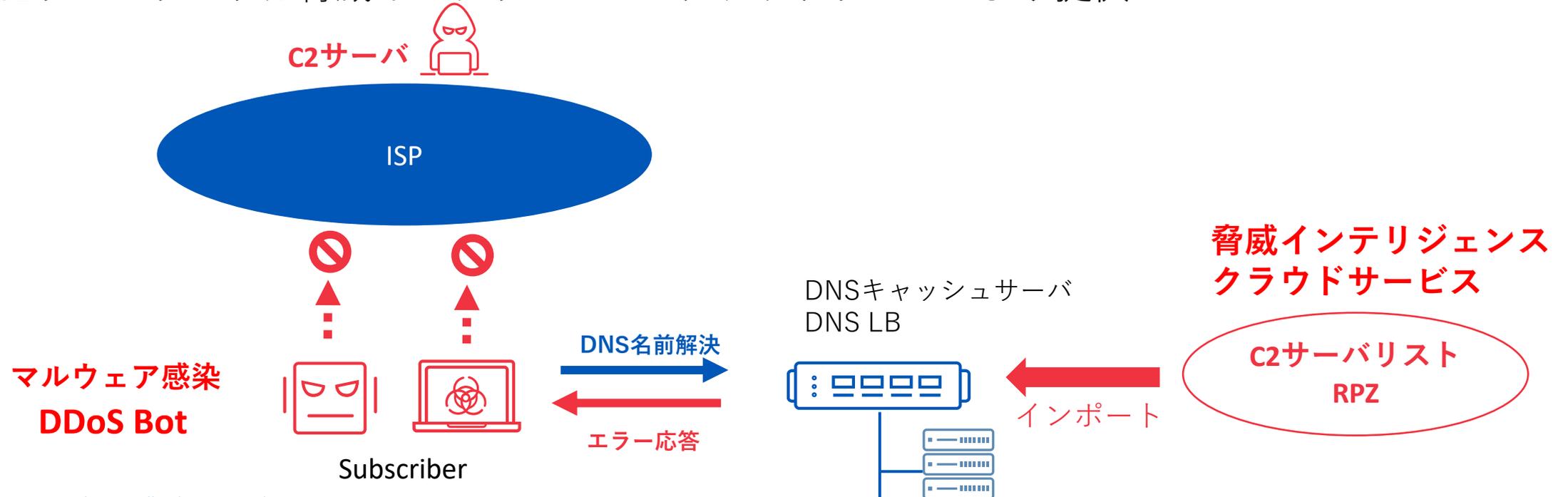


ユーザー定義
ポリシー

RPZ

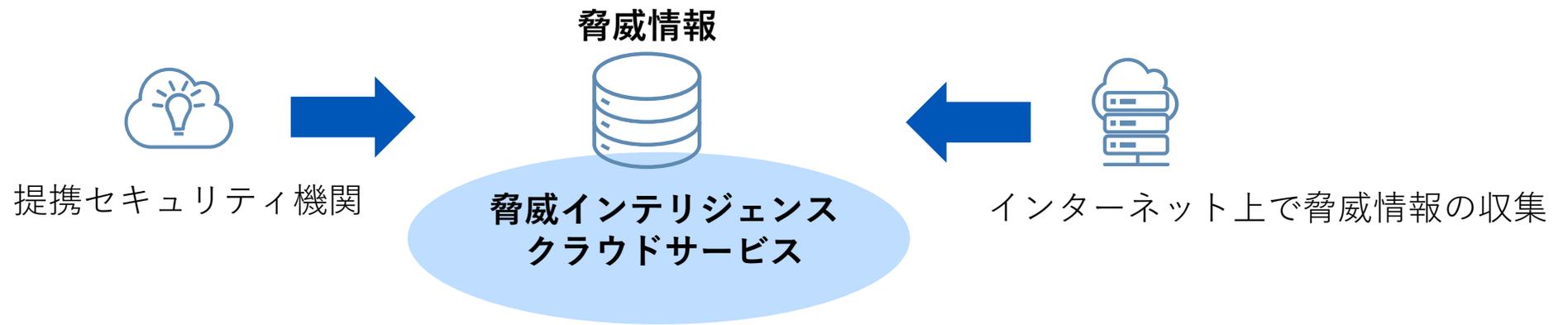
Use-Case: C2サーバブロッキング

- キャッシュDNSサーバがC2サーバの名前解決を失敗させ、DDoS/マルウェアの実行を阻止
 - マルウェアとC2との接続を遮断しC2への機密情報の漏洩を阻止
 - DDoS BotとC2の接続を遮断し、BotへのDDoSの実行を阻止。ISP内のOutbound DDoSトラフィック発生を未然に防ぐ。
 - C2サーバリストは脅威インテリジェンスクラウドサービスより提供



Use-Case: C2サーバブロッキング

- C2サーバドメインリスト
 - FQDN：66サブカテゴリ、約68,000 エントリ（2025/6/25）
 - その内の逆引き：44サブカテゴリ、3381 エントリ
 - サブカテゴリ毎にRPZファイルを分割作成可能
- FQDNはリアルタイムに更新するため短い間隔での更新が有効（1時間で数十～数百更新）





A10

Always Secure. Always Available.